



9/26

県内建設業で初の認定企業に 山木組（八日市）

▶鈴木敏明社長（右）



若者の採用や育成に積極的な企業として「ユースエール認定制度」に山木組が認定されました。

ユースエール認定とは、労働時間や離職率、有給休暇など一定の基準を満たした優良な中小企業を厚生労働省が認定するものです。

県内建設業で初の認定に、鈴木社長は「大変ありがたい。若い人のためにコツコツやってきたことが評価され、とてもうれしいです。この業界は形として地図に残るやりがいのある仕事なので、ぜひとも志してほしい」と話していました。

10/5

第58回岩船林業振興祭が開催されました 総合文化会館ほか

動画あり

▶植樹する朝日中学校2年生と市長



58回目となる本大会は「緑増え豊かになりて鮭戻る」をスローガンに開催。

総合文化会館で行われた記念式典では、地域の林業振興や緑化活動などに貢献している個人や団体を表彰した後、参加者全員で、森林の重要性を再認識、森林を健全に守り育てていくことを確認しました。

その後、朝日中学校の「あさひの森」へ移動し、天皇皇后両陛下お手撒きの種から育てた苗を、生徒と関係者で植樹し、苗木の健やかな成長を願いました。

9/21

気持ちをひとつに頂上を目指します さんぼく南・さんぼく北小学校

▶日本海を一望できる頂上までの道を両校児童が仲良く目指します



平成31年度に統合を予定しているさんぼく南・さんぼく北小学校の合同行事「山北ふるさと登山」が行われ、山北地区小俣にある「日本国」の頂上を、全校児童で目指しました。

上級生がリーダーとなり下級生と一緒に活動する「縦割り班」で励まし合って、両校児童とも全員無事に登頂できました。

今後も、学校統合へ向けたさまざまな取り組みを行っていく予定です。

10/5~
10/9

「荒川パーキングを活用した地域活性化社会実験」 日本海沿岸東北自動車道 荒川パーキング

▶村上茶の振る舞いも行われました



10月5日(木)～9日(月・祝)にかけて、日本海沿岸東北自動車道上下線の荒川パーキングで、地域活性化社会実験が行われました。

この実験は、休憩施設の少ない区間の高速道路利用者に、市特産物の物販や村上木彫堆朱・羽越しな布の展示など情報発信を行い、市の観光振興や地域の活性化につなげる事を目的としています。

立ち寄った旅行者などに、今後のパーキングの在り方についての聞き取り調査や、あらかわ地区まちづくり協議会によるハーブティーの振る舞いなどを行ないました。

10/8 地域の宝でまちおこし
塩谷集落

▶今年アルパカも登場



今年で12回目の開催となった「塩谷の町屋散策」。町屋見学や物産販売、砂山小学校の児童による鼓笛隊パレードや町屋のガイド、琴や津軽三味線の演奏会、お茶会など盛りだくさんの内容で行われました。

市内外から訪れた大勢の方が、妻入りの町屋を往来する情景は、北前船の寄港地として栄えた当時をしのばせるようでした。

10/8 3年ぶりに晴天での開催、交流芋煮会
神林水辺の楽校

▶各集落の特色ある芋煮が振る舞われました



平林地域まちづくり協議会主催の地域交流事業が開催されました。

3年ぶりの晴天に恵まれ屋外開催となったこの日は、地域の住民約350人が参加。川部集落の史跡などを巡るハイキングと荒川クリーン作戦を行い、お昼は各集落自慢の芋煮を食べ比べ、交流を深めました。

10/18 茶殻を再利用した調理実習
村上桜ヶ丘高等学校

動画あり

▶料理を前に決めポーズをする学生たち



村上桜ヶ丘高校の生活福祉系列の3年生36人が、4人ごとの9グループに分かれて、村上茶の茶殻を使った、調理実習を行いました。

これは、授業で学んだ「食品ロス」をきっかけに、地元食材の再利用メニューを自分たちで考えて、実際に作ってみようと挑戦したものです。

茶殻入りのパエリアや餃子、スープ、ハンバーグ、シフォンケーキなど12種類の料理が完成し、試食をさせていただきました。どの料理も茶葉の風味が生かされ、とてもおいしく再利用されていました。若い人たちの発想は無限大です。

10/15 うのとり元気まつりが開催されました
鵜渡路公民館

▶猿沢小学校校歌を歌いながら猿沢さわやか体操を踊る参加者



鵜渡路集落の活性化や住民交流、健康増進のために開催された「うのとり元気まつり」。

住民約90人が参加し、おなかの健康教室（むらかみ出前講座）で楽しく学習した後、猿沢地域まちづくり協議会の「猿沢さわやか体操」と、檜原大空会による「朝日音頭」を踊りました。

健やかで笑顔あふれる時間を過ごした参加者は、元気いっぱいの日となったようです。